

期日 十月六日（土）
法要 午後二時
コンサート 午後三時半

題材法話

正信偈を味わう ⑬

「ぜんどう、どくみより」
 正信偈の途中です。ひととき
 音階が高くなり、まじり、わ
 だけ「なぜ善導さまのことは
 ありませんか？」と問われたことは
 真宗では大切な方ばかり、浄土
 の善導一師「ひとえに善導
 導さまによつて」と言わ
 れたほど、日本における浄
 土教では、善導さまを抜き
 す。語ることはできないので



道ちなみに七高僧の中で、
 人のみが同時代で重なる
 おの善導大師は、人々への教
 化の善導大師は、毎日念仏を
 数万回となえ、生涯を通じ
 て「阿彌陀經」を十萬巻を
 経し、浄土の絵を三百幅描
 うお、浄土の絵を三百幅描
 かれ、浄土の絵を三百幅描
 人々を教化されたと言われ
 ています。善導大師の浄土
 一善導大師は、当時の浄土
 教に對する誤った考えをた
 だして、おこころを明らかに
 正ししました。〇善導様のす
 〇善導様のす
 が一段落を高くする善導大
 えられるのでしようか。讃
 浄土教の解釈に對して、敢
 然と正しい解釈を示し、抜
 れたからなんです。代は善
 善導大師の時代は、天災や
 が相次ぎ、戦乱が相次ぎ、
 は末法の世であり、悲し
 ることに嘆きました。



〇お釈迦様の本意
 インドのマガダ国の王舎城
 というお城の中で、王舎城
 とされる悲劇を舞台として、
 られる悲劇を舞台として、
 家の悲劇を舞台として、
 き悲しむ人々、特に王妃で
 あつた韋提希夫人を救うた
 めに、往生浄土の教えを
 の教えを往生浄土の教えを
 様が説かれたお釈迦
 経です。そこには「定
 善」「散善」と



〇常識をくつがえす
 救われ、一般的には、優れた
 であり、当時の仏教学者達
 も全員そのように考え、
 一「下品下生」の道は、単
 お釈迦様が方便として、
 れたところ、善導様は、
 釈迦様の本意、衆生
 が念仏を称えて往生する
 とをすめ、今までの常識
 見抜かれ、今までの常識
 な立場をひっくり返して、
 一声の称念仏こそが、
 らゆる営みに、人々に
 道である、人々に勧めら
 れたのです。月を指す指
 たの月を指す肝心の月を見
 だけません。お経も単に文
 だけにとらわれていた、
 真実の意図が理解できない
 のです。以下次号 5月例会よ